



平成 22 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社エヌエフ回路設計ブロック
代表者名 代表取締役社長 高橋 常夫
(JASDAQ・コード 6864)

問合せ先

取締役執行役員常務業務管理本部長 大滝 正彦
電話 045-545-8101

平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異に
関するお知らせ

平成 22 年 5 月 13 日付「平成 22 年 3 月期決算短信」にて公表しました第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想数値と本日公表の実績値との間に差異が発生しましたので、下記の通りお知らせいたします。なお、通期連結業績予想数値の修正はありません。

記

1. 平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異
(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期 純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|---|-------|------|------|------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 2,400 | 120 | 110 | 60 | 10.47 |
| 当 期 第 2 四 半 期 実 績 (B) | 2,680 | 216 | 204 | 114 | 19.45 |
| 増 減 額 (B-A) | 280 | 96 | 94 | 54 | |
| 増 減 率 (%) | 11.7 | 80.0 | 85.5 | 90.0 | |
| (ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期) | 2,187 | 65 | 71 | 36 | 6.02 |

2. 差異の理由

当期第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、回復基調は維持したものの、急激な円高の進行による輸出の頭打ち傾向や株安等によって、依然として不透明感を払拭しきれない状況が続きました。

こうした状況の中、当社グループの主要ユーザーであります製造業の設備投資も先々への不透明感を抱えながらも緩やかに回復し、売上高は従来からの強み製品に加えて前期以降発表発売しました新製品をはじめ総じて堅調に推移したことにより、また損益面では増収効果等により、前回発表予想を上回りました。

なお、平成23年3月期通期の業績予想につきましては、急激な円高による輸出・生産の弱含み等による景気の下押しリスクも懸念される状況にあり、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続くと想定されますので、前回発表予想を据え置いております。

(ご参考) 平成23年3月期 通期連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| 平成23年3月期 通期予想 | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| | 5,800 | 15.0 | 490 | 67.7 | 470 | 54.4 | 260 | 60.1 | 44.95 |

(注) 当業績予想は現時点において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、様々な要因により異なる場合がありますので、ご承知おき下さい。

以 上